

上村實劍

ついでら  
むねゆり

漢詩人。慶應二年十一月九日陸奥國盛岡生れ。既和

二十一年五月七日歿（二六六—一九四）。諱兼、字兩之、通稱才六。別號

村陵外史、詩命樓、讀易樓、讀易樓主、賣劍狂禪、賣劍道人、馬骨、

上村儼、上村躰等。山崎鯨山の集義塾に學ぶ。森槐南等の詩誌『新詩

綜』、『隨鷗集』、野口寧齋の『白花欄』等、頗與後、自ら聲教社を

興して『文字禪』（のち『漢詩春秋』と改題）を發刊。また、遊江保、

長井金風等と親交、共に周易の研究に當る。

著書『詩命樓集』（大正二年十一月五日岩手・自刊、文會堂書店發）、

『情聲詩存』

（八月著）

結城琢編輯、井上經重編輯

大正四年二月二十八日結城琢

刊）、遊江羽化

森村一朗著

『筆法秘訣』

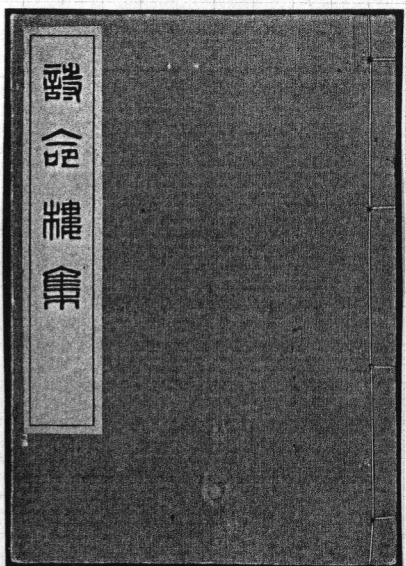
（編、大正十三年十一月十五日ニ才

社）、詩佛老人同編『清新詩題』全二冊（校訂、大正十四年十一月三

十日神奈川・聲教社）、詩佛大窪行大氏輯『補兩韻便覽』（補譯、昭

和二年八月二十五日聲教社）、遊江羽化學『周易史傳』（譯、昭和

二年六月十日神奈川・ニ才社）等。



詩命樓集